

新規流通として B to B 事業を開拓・拡大へ YMCA とのウェアの売買契約締結について

デサントジャパン株式会社（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：三井久）は、2017年4月より新たに B to B 事業の開拓を目的に事業渉外課を設置し、新規流通の拡大に取り組んでいます。この度、同課が主体となり、公益財団法人日本 YMCA 同盟をはじめとした、加盟・準加盟都市 YMCA が運営する 44 の法人・団体との共通ユニフォームにおける売買契約を締結いたしました。

日本の YMCA は日本国内 35 都道府県に約 250 ヶ所の拠点を設けており、プログラム総会員数は約 14 万人に及びます。この度、日本 YMCA 同盟のロゴの一新に伴い、各施設にて使用されるスタッフウェア、会員向けウェア等のユニフォームを統一、刷新することとなり、その製作を当社が受け持つこととなりました。

今回の契約により、4 月から各法人・団体が運営するスイミングスクールや体操教室、保育園・幼稚園等をはじめとした約 250 施設にて、スタッフ、会員の皆様に当社が展開する『デサント』、『アリーナ』、『アンプロ』ブランドのウェアをご着用いただくこととなります。アイテムはトレーニングウェアや水着、サッカーのユニフォームなどの当社が従来より扱ってきたスポーツウェアのほか、スタッフウェアや保育園・幼稚園にて園児が着用する園児帽子や指導者が着用するエプロンなど多岐にわたります。

当社は、今回の YMCA との取り組みのみならず、新規の取引先としてメルセデス・ベンツ日本株式会社やスバルテクニカインターナショナル株式会社とも取引を開始しており、今後も様々な業界、形態での B to B 事業の拡大へ注力し、売上の拡大はもちろんのこと、多くの場面で当社製品をご着用いただく機会を設けることで、企業価値のさらなる向上に努めてまいります。

※YMCA について

YMCA は Young Men's Christian Association（キリスト教青年会の意味）の頭文字をとったもので、世界 119 の国と地域で、およそ 5800 万人の会員を有する世界最大の NGO（非営利組織）。本部はスイス・ジュネーブ。

日本の YMCA は、全国 35 の都市、36 の大学、250 ヶ所以上に拠点があり、会員数は約 14 万人。



画像：4 月より着用されるウェアの一例
上段左：体操スクールで着用されるシャツ、パンツ
（『デサント』ブランド）
上段右：ウェルネススタッフジャージ
（『デサント』ブランド）
下段：スイミングスクールで着用される水着
（『アリーナ』ブランド）